岩根アイスツリー

平成23年1月30日

L田中、野澤、熊谷、釼持（記録）

小川山近くの岩根山荘に人工氷壁があるそうだ。アイスクライミングはやったことがないけれど、募集がかかり、道具も手配していただける、ということで、初挑戦。

朝8時前。岩根山荘に到着すると、山荘前の広場みたいなところに、どーんと氷壁があった。高さ10m位か。まだアイスツリーの周りには誰もいない。一日2,000円だが、山荘の人が「お食事は暖かい山荘の中でどうぞ」と声をかけてくれた。また、時間制限は特にないそうで、怪我は自己責任という趣旨の誓約書にサインして 2,000 円支払えばＯＫ。駐車場の目の前にあるので、アプローチ無しでザックも不要。ツワモノには物足りないかもしれないけれど、私みたいなヒヨコにはとてもありがたい。

道具は山荘でレンタルもしていて、何でも一個につき500円。野澤さんが、ＢＵＢＵ　フラミンゴというアックスを借りていた。大人気のアックスだそうで、かなりの上等品らしい。あとでちょっと借りて使ってみると、面白い位によく効いた。

トップロープを上から垂らし、田中さんに基本的なことを教えてもらって、とりあえずザクッとアックスを打ちつけてみると、バリンと氷のかけらやしぶきが顔に直撃。つい目をつむってしまうので、打ちたいところに打てない。特に左手が難しい。

スタンスがしっかりした、簡単なルートを登っているのに、前爪で立つのもおぼつかない。前爪、ピックだけで氷にくっついていること自体がとても怖かった。田中さんの「お手本」は、とても簡単そうにサクサク登っていくのに、どう動けばいいのかさっぱりで、やってみると実に難しい。岩でのクライミングは、足で登ることが多少はできるけど、岩が氷になっただけでこんなに難しいとは･･･腕の力で登ってしまうので、１本登っただけで腕がパンパンになった。２回目、あまりに腕が痛く、3mくらい登っただけでギブアップ。下ろしてもらうと、みんなに笑われてしまった。午前中はそれ以降、ビレイに徹する。

ストーブの火が灯った食堂で昼休憩をした後、何本か登った。少しはよくなったと田中さんに言ってもらった。

今回が初対面の熊谷さんは、フリーの技術の賜物か、とても上手で、最後の方で野澤さんが教わっていた。15時に終了&解散。

毎度のことだけど、楽しいながらも難しかった。田中さん、野澤さん、熊谷さん、お世話になりました。ありがとうございました。

【アイスツリーを登る田中さん】